

	<p style="text-align: center;">上田高等学校 関西同窓会報</p>	<p style="text-align: center;">第61号 2025年(令和7年) 7月17日(木曜日) 編集発行 上田高等学校関西同窓会</p>
---	---	---

9月13日(土)に第35回総会・懇親会

上田高校関西同窓会第35回総会・懇親会を、令和7年9月13日(土)に大阪コロナホテルにおいて開催いたしますので、本紙面及び同封のご案内で詳細を確認いただき、多くの会員の皆さんにご参加いただきますようお願いいたします。

今年の記念企画は、上田高等学校・宮下美和校長(84期)に、「上田高校生の今を語る」(仮題)として、学業・班活動・研修活動・社会課題への取り組み・同窓会との接点、など縦横に、十分に時間をとってお話しいただきます。

6月に東京で開催された関東同窓会総会には、今春卒業した大学1年生が123期の同窓会員として参加するなど、若い皆さんも参加されています。同窓会に参加することで幅広い分野の皆さんとネットワークをつくることができますので、ぜひ出欠のご予定をお知らせください(QRコード・メール・電話・FAXなどいずれの方法も可)。

..... ◆第35回総会・懇親会案内◆

【とき】 2025年9月13日(土)

受付開始 10:00

定期総会 10:30~11:00

講演会 11:10~12:10

懇親会 12:30~15:00

【ところ】 大阪コロナホテル

大阪市東淀川区西淡路 1-3-21

Tel.06-6323-3151

総会：3階310会議室

懇親会：200D会議室

【開催方法】 従来の対面方式



【会費】 会員：7,000円 ご家族：3,000円 初参加会員：3,000円

学生会員：無料

【アクセス】 JR新大阪駅東口（西淡路方面口）より徒歩2分

総会への申し込み方法

会報発送時に同封の参加案内をご覧くださいお申し込み下さい。また、右に掲載のQRコードからもお申し込みいただけます。



スマホなどから
申し込みます。

同窓会で幅広い人脈づくり

会長 荻原 靖 (74期)



みなさま、日頃より関西同窓会の取り組みにお力添えをいただきありがとうございます。

冒頭に、みなさまにお願いしたいことがございます。それは、老若男女を問わず、ぜひ関西同窓会にご参加いただきたいということです。

とくに、現役で自らの仕事に取り組んでいる方々は、幅広い分野の同窓との人脈・ネットワークがつかれる可能性があります。同窓の皆さんは、各界においてご活躍ですので、多様な情報が交流できます。

私は、50歳代の頃に仕事で出会った先輩からお誘いを受け、総会に参加したことが同窓会に関わる契機となりました。大手企業の幹部・医師・研究者・公務員・企業経営者など、多様な先輩方との出会いがあり、「普段は接することがない」世界に触れることができました。現役で仕事をしている時から関わらせていただいていたよかったですと感じています。

9月13日に開催いたします第35回総会は、昨年同様に会場にご参集いただき、上田高校の現況を校長から詳しく伺い、同窓のみなさまと共に語り合い、同窓会の将来展望を切り拓いてまいりたく存じます。

結びにあたり、同窓のみなさまの益々のご健勝を祈念申し上げましてご挨拶といたします。

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます

吉池 南翔 様 (51期) 2024年12月25日ご逝去

上田高校 NOW

ごあいさつ



上田高等学校 校長 宮下 美和

昨年度に引き続き上田高校校長を務めさせていただいて3年目になりました。関西同窓会の皆様には、日ごろより温かいご支援をたまり、心より感謝申し上げます。海外研修生徒支援募金へのご協力も心から感謝いたします。今春は、マレーシア研修とカンボジア井戸掘りツアーの2プログラムを実施し、いずれも実り多い研修となりました。

昨年 2024年12月6日、とんと動かさずにいる上田高校のFacebookにDMが来ました。アメリカにお住いのボブさん。1972年～1973年まで交換留学生として上田高校で過ごされたということでした。丸子でホームステイをしていて生物班に所属していたとのことで、当時の同級生と連絡がつくようであれば、また交流したい。というご用件でした。残念ながらクラスや担任の先生などの詳細なことは覚えて



おられず、同窓会の事務局で当時の名簿を見せていただいたりしましたが、あまり手掛かりがつかめませんでした。



ボブさんは、その後も時々思い出したように、当時の校舎や美術の版画作品、修学旅行の写真、同級生とのスナップ、などたくさん送っていただきました。ボブさんが日本で過ごした日々をととても懐かしく大事に感じておられるのが伝わってきました。

若いころの(あるいは年齢は関係ないのかもしれませんが)海外での経験ってどうしてこんなに大きなインパクトを与えるのでしょうか。景色も人も文化も何もかも自分が経験してきたものどちがう、それを経験すると人は一回りも二回りも大きくなり、視野が広がります。世の中にはいろんな人がいていろんなところで同じように生きているんだな、そんな当たり前のことを実感します。



上田高校は引き続き生徒にそのようなグローバルな学びの機会を提供してまいりますので、引き続き温かいご支援をお願いいたします。

その後、ボブさんの同級生が判明しましたことを申し添えます。(写真はボブさん提供)

進路状況

2025年度入試結果

進路指導主事 横山智典

日頃、関西同窓会の皆様には本校の教育に温かいご支援ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今春の卒業生が受験した共通テストから、新科目として「情報」が設置され、地歴では「歴史総合」「地理総合」が、公民では「公共」が導入されました。さらに国語には「実用的な文章」、数学には「数学C」が導入され、試験時間も10分長くなりました。受験科目は6教科8科目となり、受験生の負担感はかなり増したと思いますが、本校卒業生はしっかりと取り組み、最後までしっかりと受験していたように思います。国公立大学には現役生が167名（過年度生34名）、私立大学には現役生499名（過年度生121名）とかなり多くの合格者を出しました。

これからも、社会に求められる人材に必要な能力や態度を育成するとともに、社会貢献するための資質を養えるよう努めたいと存じます。関西同窓会の皆様に引き続きご支援いただけますようお願い申し上げます。

2025年入試 合格校一覧（2025年3月卒業生及び過年度生）

2025.5.14現在

学校名	現役	既卒	学校名	現役	既卒	学校名	現役	既卒	学校名	現役	既卒
国立大学計	136	28	公立大学計	31	6						
北海道	4		高崎経済	6	1	國學院	3	1	日本女子	4	1
東北	4	1	前橋工科	2		国際基督教		1	法政	35	13
山形	2	1	千葉県立保健医療	1		駒澤	12	2	武蔵		1
福島	1		東京都立	5	1	実践女子	1		武蔵野	4	2
茨城	2	2	横浜市立	3		昭和女子	1		武蔵野美術	6	
群馬	5	1	長岡造形	1		芝浦工業	13		明治	23	9
埼玉	11	1	新潟県立	3		順天堂	11		明治学院	14	1
千葉	6	2	都留文科	1	2	上智	9	3	明治薬科	2	
お茶の水女子	1		公立諏訪東京理科		1	成蹊	3		明星	1	
電気通信	2		長野	2		成城	3		立教	9	1
東京	1	2	長野県看護	1		専修	8	4	早稲田	12	6
東京科学		1	静岡県立	1		拓殖	1		神奈川	8	2
東京外国語	2	1	岐阜薬科		1	多摩美術	1	1	新潟医療福祉	1	
東京学芸	2		大阪公立	1		大東文化	1		金沢工業	9	
東京芸術		1	福知山公立	1		中央	15	5	佐久		1
横浜国立	4					津田塾	11	4	長野保健医療	2	
新潟	11	3	私立大学計	499	121	帝京	1		松本	6	1
富山	13	3	酪農学園		1	東海	6	1	中京	7	
金沢	13	1	国際医療福祉	2	2	東京音楽		1	中部	1	
福井	1		群馬パース	4	1	東京家政	1		名城	2	
山梨	3		高崎健康福祉	6	1	東京経済	2	1	名古屋外国語	1	
信州	37	4	城西	1		東京工芸	1		京都産業	4	
岐阜	1		獨協	7		東京女子	3		京都女子	1	
静岡	1		文教	7		東京造形	1		同志社	12	1
愛知教育	1		千葉工業	10	1	東京電機	7		龍谷	3	
京都	1	1	青山学院	5	3	東京都市	12		立命館	14	6
京都工芸繊維	1		亜細亜	4		東京農業	5	2	関西学院	2	2
大阪	2	2	桜美林	4		東京薬科	2	1	近畿	4	1
奈良女子	1		学習院	7		東京理科	6	8			
名古屋工業	1		杏林	8		東邦		1			
神戸	1		北里	6	2	東洋	25	11	専門学校等	2	
九州		1	慶應義塾	5	3	日本	19	5	海外進学	1	
琉球	1		工学院	8	1	日本歯科	1				

故郷の話題

昭和は遠くなりにはけり 60年前の剣道班

67期 金澤信男

昭和41年(1966年)4月上田高校入学直後、すぐ応援歌の練習が始まりました。応援団員は講堂の中で革靴で、整列している1年生の間を歩き回り、きちんと校歌や応援歌を覚えて歌っているか聴いて回っていました。私は応援練習が怖くて、剣道班に入りました。

剣道班は上田中学の時代から継続しています。明治33年(1900年)には撃剣科がありました。(科と班が同じ?) 撃剣とか剣術が大正時代に剣道と呼ばれるようになったそうです。

私の高校生時代、剣道班の顧問の先生は1年次横谷先生。2年から野中先生で、大会前日先生のご自宅に選手全員宿泊させていただき試合に参加したこともありました。

剣道はOBのM先輩にご指導いただきました。双子の兄弟でお二人とも全日本剣道連盟の役員で、インターハイ全国大会に出場されています。お兄さんは剣道教士八段。(剣道八段は合格率が1%以下で、超難関です。)

2年生の秋、長野県の新人戦大会で団体優勝したので、翌年のインターハイ全国大会出場目指し、3年になる冬期に1週間、稽古をしました。大会結果は県予選2位で全国大会出場ならず、北信越5県大会に出場。(私はこの北信越大会があることを知りませんでした。)インターハイ県予選終了後、1週間で大会があり、結果はボロ負けでした。

現在、小学校の体育館で週2回子供たちと稽古しています。剣道は子供から老人まで男女区別なく稽古できます。私が所属している団体は7歳から85歳までの会員がいます。昇段審査も男女一緒です。

転勤しても剣道具を担いでいくと、どこでもウェルカムで稽古させていただきました。剣道を続けることによって、いろいろな方と交流でき、現在も市の剣道連盟の方々と交流があります。

写真は令和4年(2022年)11月13日に行われたねんりんピック神奈川(全国健康福祉祭。60歳以上が参加)の時の兵庫県代表チーム。予選リーグ(4チームのグループで2試合の結果で1位のみ決勝トーナメントに進出)1勝1分けで予選敗退。伊勢原市にて。



リレーエッセイ

58期 武村洋治

私の家族は昭和19年12月東京から親戚のいる坂城町に疎開しました。その時私は3歳、慣れないせいもあってとても寒く感じました。

東京の家がB29の空襲で家が焼け父親が戦死したため東京に帰ることはありませんでした。親戚がほとんど東京だったので度々上京しました。

そして帰るときは上野発長野行き鈍行でした。上田までおよそ6時間。上田を離れると上田城の櫓が見えてきます。もうすぐ坂城、この風景が目に入ります。

東京の焼けた家は東中野にあって、家が建て替えられて叔父松永正彦が引き継いでいました。そのそばに大叔父画家松永対馬の家がありました。



「上田城址公園の秋 11月」油彩 30号

私は幼い頃から絵が得意で親戚中から、洋治の絵が上手いのは画家だった大叔父の血だと言われていました。小学4年生の時叔父と一緒にその大叔父の家を訪ねました。

大広間に帝展などに入選したという大きな10点近くの油彩画などがありました。しかしその



信州新町犀川沿い、ろうかく湖(さいがわダム湖)

絵を見たとき時、何故か感動しないばかりか、「洋治ちゃんは将来立派な画家になる！」と言われてきましたが絵を見たその日から絵の道に進むことは止めてしまいました。しかし平成16年松本市美術館で肖像画だけ100点あまりを展示した初めての個展を開いた処大変な盛況で5日間の会期中1,800名が来てくれました。坂城町から20名ほど来た人たちの中から「洋治ちゃん！立派な画家になったじゃない！」と言われチョット嬉しくなりました。

大叔父は戦前、絵のためにオランダに5年間留学し、画家有島生馬の画家仲間だったようでした。その時、仲間と何度か夏を過ごした信州新町の事を話してくれました。

国道19号線松本長野間の中程にある信州新町に有島生馬記念館があります。

私は昭和48年長野放送松本支社に転勤して松本が大好きになり望んで何度か住んでこの絵を描きました。

校歌に「古城の門をいでいりて～」その古城の門を描きました。絵はがきになっていて同窓会館で販売してもらってます。原画はやはり同窓会館1階に展示して貰っています。



令和7年文化サロン

ふるさと、国を興した人々

73期 武舎一夫

2月1日(土)午後、大阪上本町のホテルアウイーナにて第17回文化サロンが開催されました。48期の関口貞雄様を講師にお招きし、「ふるさと、国を興した人々」の演題で、「新時代の扉を開いた活文禅師」、「開国を唱え、養蚕、絹織物を奨励した松平忠優(忠固)」、「上田公園を拓いた丸山平八郎と勝俣英吉郎(変則中学校)」、「蚕都上田市を築いた三吉米熊」、「福沢諭吉のルーツは塩田城」、「満蒙を築き、対米英開戦に反対し追放された金井章次(4期)」、「公衆衛生の父勝俣稔(8期)」についてお話しいただきました。関口様にはコロナ禍直前の2020年2月の第13回文化サロンにて、「郷土の先覚者赤松小三郎」の演題で幕末期に活躍し非業の死を遂げた郷里出身の洋学者赤松小三郎についてお話しいただきましたので、2回の講演でふるさと上田にゆかりある8名の偉人について学ぶ機会をいただきました。

幕末から太平洋戦争に至る激動の時代に活躍した私達の諸先輩たちについての関口様のこれまでのご研究に敬意を表するとともに、次の機会に新たなテーマでご登壇いただきたくお願い申し上げます。



令和7年秋の文化交流会のご案内**奈良市高畑と奈良公園の散策**

春日大社の南に位置する高畑は古くは春日大社の社屋町として栄えましたが、大正から昭和初期にかけては志賀直哉を始めとする多くの文化人が自宅を構え、文化交流の場として有名になりました。

また高畑は、光明皇后が聖武天皇の病氣平癒を祈願し747年に創建した古刹新薬師寺がある場所として知られ、本堂には本尊薬師如来坐像（木造・国宝）と、それを囲む日本で最古最大の十二神将立像（塑像・国宝）が安置されています。

今秋の文化交流会では、新薬師寺を参拝し天平時代を代表する仏像を鑑賞した後、志賀直哉旧居を訪れ、芸術家たちが集った食堂や、書齋を見学いたします。

1. 開催日 令和7年10月18日（土）
2. 集合場所 近鉄奈良駅地下1階東改札口
（近鉄奈良駅には東改札口と西改札口がありますご注意ください）
3. 集合時間 9時45分 時間厳守
4. 行程 午前：新薬師寺・志賀直哉旧居訪問
昼食：奈良公園近くの料理店にて会食を予定
午後：奈良公園散策
5. 解散場所 近鉄奈良駅 15:00頃
6. 会費 5,000円（当日集金します：寺院拝観料、昼食込）
7. 持ち物 雨具、健康保険証、飲物等をご持参ください。
8. 注意事項 当日3キロ程歩きますので、歩きやすい靴でご参加下さい。

*雨天時：開催します。悪天候等により開催不可能の場合は当日朝8：00までにご連絡致します。

9. 参加申込み 準備の都合上、9月末日までに E-mailもしくは電話にて、お申し込み願います。

10. 申込み先 〒635-0013 大和高田市昭和町 8-11-226 武舎 一夫

E-mail：pretrejean@nifty.com TEL：090-9851-5778

